

9月2日・3日 東海3県を中心に青年経済人の集う
日本商工会議所青年部 第35回 東海ブロック大会（鈴鹿市）を開催



日本商工会議所青年部（以下、日本YEG／西村昭宏会長・鯖江商工会議所青年部所属）は、令和4年9月2日（金）、3日（土）の両日、三重県鈴鹿市において、「日本商工会議所青年部第35回東海ブロック大会」を開催しました。

ブロック大会とは、経済・社会環境が大きく変化する中で、企業と地域社会の次代を担う青年経済人が互いに交流と連携の輪を拡げ、企業の発展と豊かな地域社会の形成に果たす商工会議所の役割を認識し、その実現のために青年経済人として何をなすべきかを研究し研鑽することを目的としており、全国9つのブロックそれぞれで開催されます。

本大会は、大会テーマに「Top Speed～次代への舵を取り、同志と共にぶっちぎれ！～」を掲げ、2日には東海内の商工会議所青年部（以下、YEG）の指導的役割を担う会長らがYEGの直面する課題について意見交換を行う会長会議を実施いたしました。3日は、イスのサンケイホール鈴鹿、AGF鈴鹿体育館にて記念式典を開催し、多くの来賓の方々にもお越しいただきました。その後、カートアタックGPやマイカーランGP、伝統工芸を知ったり、パワースポットをめぐったりなど、ぶっちぎりの「学び」と「体験」そして日本一の「おもてなし」をコンセプトに、鈴鹿サーキットのモータースポーツをはじめ、美しい山と海、何より人の温かさをもって、この素晴らしい鈴鹿の魅力を余すことなく感じていただける分科会も開催されました。

登録者数も過去最高の2048名にのぼり、全国各地にこの鈴鹿の魅力をアピールすることができました。

日本YEG西村会長は、記念式典の挨拶で「わたしたちの経済や生活は新たな時代に向けて、急激に変化を迫られています。わたしたちYEGもまた、新たな時代に向けてYEG活動の再構築や、自己変革が今求められているのではないのでしょうか？できるのは未来を変えることです。今何ができるかを考え、未来を見据えて今、行動を起こすことです。この変革の時期だからこそ、わたしたちYEGは、改めてYEGの存在意義とは何か？そしてわたしたちが目指す未来とは何か？を改めて考え直し、そして自企業の発展のため、地域の発展のため、今こそ新たな一歩を踏み出していかなければなりません」と話しました。



【お問い合わせ先】

日本商工会議所青年部 広報ブランディング委員会 副委員長 松井義博

Mail : kouhouyeg@gmail.com

(日本商工会議所青年部ホームページ) <https://yeg.jp>



【商工会議所青年部（YEG）とは】

商工会議所青年部は、次代の地域経済を担う青年経済人の相互研鑽の場として、また、資質の向上と会員相互の交流を通じて、自企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

「YEG」とは、商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group＝若き企業家集団）の頭文字をとったもので、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト（若さ、情熱、広い視野）を持った経営者＝Youth, Energy, Generalistを表しています。

2022年5月現在、日本YEGに加入の青年部は417カ所を数え、その会員数は32,000名を超えます。YEGでは、地域の経済的発展の支えとなるべく、全国各地でのコンベンションの開催、地域からの要望や意見を集約し提言を行う活動、経営課題を解決するための事業、講演会・セミナーなどの研修事業、国際的な交流活動などを行っています。